

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	中学校夜間学級給食運営事業	シート番号	038-093
担当部署名	教育委員会事務 局	学校管理 部	保健給食 課 評価責任者(課長名) 寺田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	4	教育・生活環境の充実	無
	2	事業開始年度	昭和 47 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	中学校(夜間学級)において夜食として補食給食を実施することにより、生徒の健康保持と修学支援を図る。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市立殿馬場中学校(夜間学級)の生徒				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	中学校(夜間学級)で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	中学校(夜間学級)において、夜食として牛乳とパンの補食給食を無償で提供する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					

Ⅲ. 投入量

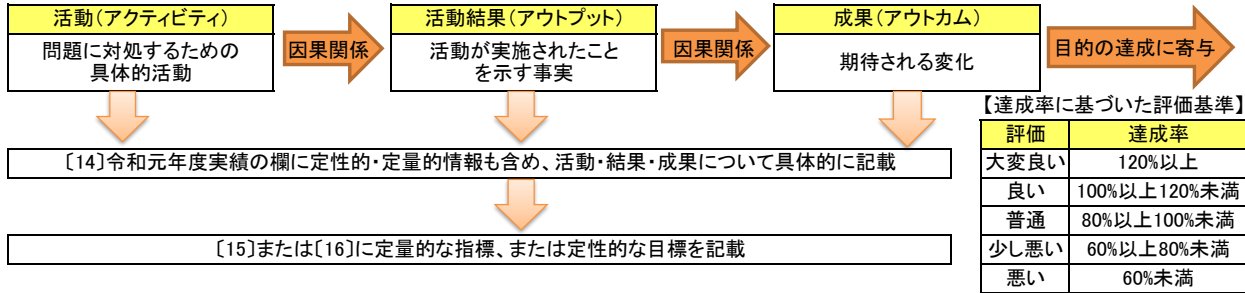
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	3,645	2,581	3,645	2,488	3,463	1,710	3,169	
	主な事業費内訳	給食用パン・牛乳	千円	3,645	2,581	3,645	2,488	3,463	1,710	3,169
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
その他( )		千円								
	一般財源	千円	3,645	2,581	3,645	2,488	3,463	1,710	3,169	
12	人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	4,465	3,401	4,465	3,308	4,273	2,520	3,989	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	中学校夜間学級給食運営事業	シート番号	038-093
-------	---------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	令和元年度実績						
		<p>令和元年度実績は、年間給食回数 179回、給食人員 約70人であった。                      中学校(夜間学級)は、様々な理由で義務教育を修了できなかった方が通学されており、補食給食を無償で提供することは、夜間過程の限られた時間の中で、生徒間に差を生じることなく生徒が空腹を満たすことができ、また、一同に食することで生徒間や教職員とのよいコミュニケーションの場となっている。                      令和元年11月に実施した補食給食のパンについてのアンケート調査では、パンの内容(味)に満足している人の割合は、94%であった。                      また、補食給食が授業を受ける上で役立っていると回答した人は97%であり、中学校(夜間学級)で学ぶ生徒の就学支援に一定の効果を上げているといえる。</p>						
		15	アンケート調査による満足度	%	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値	100	100	100	100		
	実績値	91	88	94	94			
	達成率	91%	88%	94%	94%			
	評価	普通	普通	普通	普通			
	算出方法・設定根拠など		補食給食のパンの内容(味)に満足している人の割合					
	16	学校給食実施予定日数	日	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	目標値	202	198	198	202			
実績値	198	198	179	179				
達成率	98%	100%	90%	90%				
評価	普通	良い	普通	普通				
算出方法・設定根拠など		学校給食実施予定日数						

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	給食を喫食している生徒数(平均)	人	98	94	70
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,401	3,308	2,520
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	34,704	35,192	36,000
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	学校給食を安全に供給できた日数	日	198	198	179
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,401	3,308	2,520
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	17,177	16,707	14,078
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		アンケート調査による満足度の評価指標から、目標はおおむね達成できたといえる。

**【分析のチェックポイント】**

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	中学校夜間学級給食運営事業	シート番号	038-093
-------	---------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 中学校（夜間学級）で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため、補食給食は継続して実施する必要がある。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 中学校（夜間学級）で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため、補食給食は継続して実施する必要がある。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 中学校（夜間学級）で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため、補食給食は継続して実施する必要がある。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 喫食時に人と人の距離を保つ等、感染症対策を行っている。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	理由・説明	実施方法が限られているため、改善の余地はない。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		学校の実情や生徒の実態に即して、可能な限り内容を充実させ、生徒のニーズを反映した給食を提供することが必要である。 給食内容については、改善を行っているが、今後も定期的にアンケートを実施し、生徒のニーズを反映した給食を提供する。			